

ウルトラ建設探訪記

vol.05

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第39話「セブン暗殺計画 前篇」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の未来 神奈川県民の生活を支える「水源」

1950年代以降、神奈川県は、横浜市・川崎市の人口急増を受け、相模ダムだけでは水源確保が厳しくなると予測し、新たなダムの建設を計画。相模川の洪水調節、水道用水・工業用水の確保に加え水力発電も行う多目的ダムとして、1962年から約3年間の工事で「城山ダム」が完成した。長さ260mの堤頂は国道413号に指定されており、「城山大橋」とも呼ばれる幹線道路となっている。劇中でポインターが走り抜ける場面が撮影されたと思われるこの道路は、津久井湖を横に見ながら通ることができる、全国でも珍しい「ダムの上の国道」である。

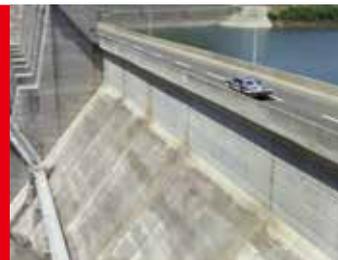


提供：城山ダム管理事務所

セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第39話「セブン暗殺計画 前篇」では、地球侵略をたくらむガッツ星人がウルトラセブンの能力・弱点を分析し、希望の象徴であるセブンを倒すことで、人類を降伏させようとする。ガッツ星人の挑戦を受けずにダン是对話を試みるも、なおも挑発を続けるガッツ星人の前に、ついにセブンに変身。しかし、分身や瞬間移動を駆使するガッツ星人を相手になすすべなく敗れ、エネルギーを使い果たして捕らえられてしまう。最後には、セブンが十字架にはりつけにされ、後編に向けて不安感が募るエンディングとなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>